

令和5年度 京都市民健康づくり推進会議
第1回「たばこ対策推進部会」及び「適正飲酒推進部会」 摘録

1 開催日時
令和5年8月18日（金）午後1時30分～午後3時

2 開催場所・形式
Zoomによるオンライン開催
(会場：京都市役所分庁舎 4階 第6会議)

3 次第
(1) 開会挨拶 京都市保健福祉局健康長寿のまち・京都推進室長
(2) 議 事
① 市民の健康をとりまく現状と課題について

報告・説明 事務局

- ・【資料4-1】令和5年度「健康づくり・口腔保健・食育に関するアンケート」結果報告書（喫煙・飲酒分野抜粋）
- ・【資料5】現行計画における市民の健康づくりの状況を確認する数値
- ・【資料6】京都市「たばこ」に関する取組について
- ・【資料7】京都市「飲酒」に関する取組について

意見聴取等 ○機関・団体等 ◎部会長 ●事務局

◎部会長 ○京都府医師会	<ul style="list-style-type: none"> ・京都市から説明いただいたが、ご質問・御意見等あれば発表をお願いしたい。 ・京都府医師会では、NPO法人京都推進研究会の御尽力をいただき、小・中・高校生を対象とした防煙事業を実施している。 ・【資料4-1】の設問18-2の喫煙をやめたいかと思いませんかと問い対し、やめたいと思っている方が全体17.0%という結果となっている。現在、禁煙外来を行っている診療所では、禁煙支援の核となるチャンピックスというお薬がまったく流通していない現状が続いており、禁煙したいと思ってもできない人が多いのではないかということを危惧している。この結果について、考えられる情報があれば教えてほしい。
◎部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・私自身も、京都大学附属病院で禁煙外来を担当している。この3年間、チャンピックスの出荷停止が続いており、様々な学術団体を通じて、ファイザー株式会社へ問い合わせしているが、玉虫色の返答しかいただけていない。禁煙外来で使えるお薬は、チャンピックスとニコチンパッチの2種類であるが、ニコチンパッチのみとなっている。しかし、チャンピックスが出荷停止になる前から、この2つのお薬に対する禁煙の成果は、ほぼ同じであるということが報告されている。京都大学附属病院では、受診者数も増加しており、禁煙の成功率も落ちていない。ただ、残念なことではなるが、ニコチンパッチというお薬を使い慣れている医師が少ないのが現状ではないかと考えて

	<p>いる。そこで、ぜひ京都府医師会の方々にもご支援いただきたい。また、ニコチンパッチは、小さなサイズであるが薬局でOTC医薬品（薬局・薬店・ドラッグストアなどで処方せん無しに購入できる医薬品）として販売されているので、広くアナウンスいただき、喫煙から禁煙に変わりたいという方がニコチンパッチを十分に利用できるようなご支援をいただけるとありがたい。</p>
<p>○京都府医師会 ○京都府薬剤師会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 京都府医師会でも検討してまいりたい。 ・ 京都府薬剤師会では、チャンピックスの入手困難な状況においても、禁煙支援の実践を行っている。また、禁煙支援薬局として認定する認定制度をここ10年間続けている。この薬局の中では、ニコチンパッチを使って、患者様及び従業員を含めた禁煙実践を行っている。京都府内3つの薬局では、京都府薬剤師会から補助を行い、ニコチンパッチを無料提供している。チャンピックスの入手が難しくなってから、今までより禁煙実践を希望する方が多くなっている。 ・ 資料4-1の設問10のCOPDに対する知識については、『意味を含めて知っている』と答えた15～19歳の男性は、今回、令和3年度から18.1Pt増加しているが、何か考えられる原因はあるのか。京都市は、教育委員会、NPO法人京都推進研究会ともに防煙教室を継続されており、今回増加した年代が、対象に含まれているため、継続されていることの効果がでていのではないかと思った。
<p>◎部会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 禁煙支援薬局として、全国の薬剤師会が禁煙を推進する立場をとっていただき、ニコチンパッチを使った禁煙を進められており、これからも継続していただきたいと思っている。 ・ また、COPDに関しても認識が広まっていることに対しては、これまでの薬剤師会の先生方を含めて、子どもたちへの教育を地道に続けてきた結果だと思われる。京都市として、この結果について考えられることはあるか。
<p>●事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 京都市としても今まで、中学生、高校生を対象にした防煙教室を継続してきた。今回、『意味を含めて知っている』と答えた15～19歳の男性が18.1Pt増えているが、調査対象の15～19歳の総数が42名と少数の回答になるので、一律効果が出ているとは断言することが難しい。しかし、御協力いただいた活動がこのような結果につながれば嬉しく思う。今後も、継続していきたい。
<p>◎部会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回、15歳から19歳の回答総数が少なかったとのことであったが、これからも引き続きこの調査を見守っていきたいと思う。また、禁煙教育をすることの重要性は非常に指摘されているので、皆様にも御尽力いただきたい。

② 次期計画「健康長寿・口腔保健・食育推進プラン（仮称）」素案について

報告・説明 事務局

- ・【資料 8－1】京都市「健康長寿・口腔健康・食育推進プラン（仮）」素案について
- ・【資料 8－2】 // 概要版
- ・【資料 8－3】 // 取組方針 1 の代表例イメージ
- ・【資料 9】京都市「健康長寿・口腔健康・食育推進プラン（仮）」素案「第 2 章 現状と課題」補足資料（案）

意見聴取等 ○機関・団体等 ◎部会長 ●事務局

○部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 京都市から説明いただいたが、ご質問・御意見等あれば発表をお願いしたい。 ・ 【資料 8－3】についてであるが、「飲酒」と「たばこ」の項目があるが、「受動喫煙の防止」の項目も追加して強調していただきたい。「受動喫煙防止」の項目を入れることにより、重要性を認識していただけるのではないかと思っているので、よろしく願います。
------	--

(3) 閉会挨拶 京都市保健福祉局健康長寿のまち・京都推進室長